

えひめ 地域づくり協働体通信

春の訪れを感じる時期となりました。
第6号では、西予市狩江地区、宇和島市岩松地区の活動
を紹介します。地域での活動の参考となれば幸いです。

西予市
明浜町
狩江地区

宇和島市
津島町
岩松地区

西予市明浜町狩江地区「かりとりもさくの会」

キーワード：交流人口拡大、都市・農村交流



地区の皆さんがガイドとして地元の地理、文化を紹介

●訪れるお客さんをガイドしています。

「段々畑ガイド」というガイド育成事業で研修を受けた、20代から80代までの地元の皆さん13名が、ガイドとして活躍しています。H25年、「四国西予ジオパーク」が日本ジオパークに認定されたこともあり、H27年は前年のおよそ2倍となる約330名のお客さんを受け入れました。また、要望に応え、海上から段々畑を眺める「段々畑ジオクルーズ」のガイドも行っています。

●「明浜」つながりで 横須賀市の小学校と交流しています。

H27年11月、神奈川県横須賀市立明浜小学校で交流会を開催しました。会から3名が同校を訪れ、児童、保護者に明浜町について紹介した後、みかんの皮むき大会、みかんの即売をして交流を深めました。これまでも横須賀の子供たちが郷土芸能「歌舞伎くずし」の見学に狩江を訪れているほか、今後は電話を使った両校児童による授業も計画されており、「明浜」つながりの絆を更に深いものにしたい双方の交流が進んでいます。



明浜町の紹介



児童参加の皮むき大会



住民・小学生との交流

●愛媛大・香川大・東洋大の皆さんと 一緒に地域づくりに取り組んでいます。

大学生を地域に受け入れ、地域の再発見、課題の解決に向けたワークショップ、ふれあい活動と一緒にを行っています。今年は廃校となった旧狩江小の清掃活動に地区の皆さんと一緒に参加してもらい、交流を深めました。お盆・秋祭りの頃には卒業生が再度地区を訪れるなど、地区のよき理解者となっています。

詳しくは「かりとりもさくの会」ホームページ <http://karitorimosaku.jp/> をご覧下さい。

ここがポイント

「かりとりもさくの会」の活動について

Q「かりとりもさくの会」はどのような組織ですか？

A 狩江地区も少子・高齢化が進み、地元小学校も統廃合されました。そして収入源である柑橘・漁業収入は減少傾向が続いており、集落維持が最大の課題になっています。こうして疲弊する地区に活力を取り戻すため、平成24年から地区の有志が集まり地域の課題解決に取り組んでいます。

Q他にどのような活動を行っていますか？

A 地区の案内看板を設置する「看板チーム」、手作り品等の直売所「なんちゃな市」を展開する「もさく女子会」、狩江民が元気となる新たな拠点づくりについて考える「学び舎再

生準備会”(旧狩江小学校利活用)、家庭に残されている懐かしい地元映像の保存活動“重雄さんプロジェクト”など、事業目的に沿った7つの組織で活動しています。

Qこれからの課題はどのようなことですか？

A 少ない住民の中で活動に参加できる人員が限られる中、地区活動に参加している大学生、女性の視点など、外からの意見を会の運営に取り込んでいくことが大事です。また、公民館、老人会なども色々な取り組みをしており、組織のリーダー（役職、世話役）が重なることが負担となっています。このため、皆が負担感なく活動に参加できるよう工夫する必要があります。



かりとりもさくの会
事務局長
原田 兼章さん

宇和島市津島町岩松地区「岩松町並み保存会」

キーワード：町並み保存、コミュニティ再生、交流人口拡大

●コミュニティ再生などに取り組んでいます。

江戸・明治期の歴史ある家屋や酒造場など、なつかしい町並みが残る旧津島町岩松地区で、「岩松町並み保存会」メンバーが中心となり、町並みの保存活動を通じた地域コミュニティ再生などに取り組んでいます。

春は稚児が町並みを練り歩く「岩松雛回廊」（雛様イベント）、夏には「ちょうちん行列」（夏祭り前夜祭）や岩松川での「さよなら夏休み花火大会」、年末には路上にこたつを置き、参加者が一緒になってどぶろくを飲む「ねんまつ いわまつ 大忘年会」など、町並みに地区内外の人が集まるイベントを行っています。

また今では、地元で醸造されるどぶろく目当てのツアー客が、町並み散策に岩松を訪れています。そして、どぶろくを使ったさまざまな商品を地元女性グループが開発し、道の駅などで販売するなど、地域の特産品を通じた活性化にも取り組んでいます。



岩松雛回廊



ねんまつ いわまつ 大忘年会



酒蔵での作品展示



どぶろく「NASSO」

詳しくは「津島郷、岩松のどぶろく NASSO (なっそ)」ホームページ
<http://nasso.exblog.jp/> をご覧下さい。

ここがポイント

「岩松町並み保存会」の活動について

Q「岩松町並み保存会」についてご紹介下さい。

Aメンバーは5人、活動を始めて数十年になります。町並みにある明治期に建てられた酒蔵を拠点に活動しています。

Qどのような活動を行っていますか？

A最近では、いわゆる特区を活用した「どぶろく」nasso（なっそ：地元でなぜ、なんでのニュアンス）を醸造しました。この「どぶろく」を地域づくりの道具として、また、「どぶろく」を販売した収入を財源として、町並みにある建物を活かしたイベントを行っています。また酒蔵では地区内外の方の作品の展示や交流会を行うなど、地区の方も気軽に集まれるよう工夫しています。

Q難しさはどのようなことですか？

A住民の皆さんに関わってもらうようにすることです。メンバーは皆仕事を持っているので、なるべく準備などに手間

がかからないイベントを計画することが大事です。また、町並みの建物は個人所有なので、自分達はさわることできません。しかし、これからは行政と地元が連携した維持・保存方法の検討が必要だと思えます。

活動の財源を補助金などに頼っていると、財源がなくなれば活動が止まってしまう。自立できるようにすることが、地域活動の基本だと思っています。

Qこれからの活動は？

Aこれまでの継続した取り組みで、大勢のお客さんがイベントに足を運んでもらえるようになり、地区の行事として認知されてきたと感じています。これからも岩松の良さを残しながら、町の文化的価値が上がるようなイベントを工夫して行っていきたいと思っています。



岩松町並み保存会
代表
兵頭 肇さん

お知らせ

平成28年度「地域づくり人養成講座開講」受講生募集について

(公財)えひめ地域政策研究センターでは、地域づくりに関心のある方々を対象とし、地域活動の中心となる人材を養成する講座を開講しています。講座はテーマごとに地域づくりの先進地へ赴き、グループワークや講義などを通じ、地域づくりの意識やスキルの向上を図ります。

6月より6回程度の講座を予定しています。詳細はセンターへお問い合わせください。

地域づくり人養成講座

検索

この情報誌の関係サイト／「えひめ地域づくり協働体」facebook

●発行／平成28年3月

●地域の活動情報の連絡先／この情報誌に関するお問合せ先

愛媛県企画振興部地域政策課

TEL 089-912-2261

メール chiikiseisak@pref.ehime.jp

(公財)えひめ地域政策研究センター

TEL 089-926-2200

メール info@ecpr.or.jp